

平成26年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	首都圏等に向けた小海線の魅力発信事業
事業主体 (連絡先)	小海線沿線地域活性化協議会 (南牧村 産業建設課建設係 井出 健太 TEL:0267-96-2211)
事業区分	(6)ア 特色ある観光地づくり (1) 地域協働の推進に関する事業
事業タイプ	ソフト事業
総事業費	3,619,047円 (うち支援金:2,573,000円)

事業内容

1.観光誘客による広報

「小海線の旅 夏号」

「小海線の旅 春号」

- ・実施日時:平成26年4月~平成27年3月
- ・実施場所:首都圏 JR 駅 (一部県内主要駅)
- ・パンフレット設置部数 年間200,000部
(各季節 100,000部)

2.首都圏等における観光PR

- ・実施日時:平成26年7月5日~6日
平成26年11月19日
- ・実施場所:石川県産業展示館1号館 (石川県金沢市)
銀座 NAGANO (東京都中央区銀座)



【1. 観光誘客による広報】



【2. 首都圏等における観光PR】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

・JR東日本との共同で実施することにより、小海線沿線地域の観光情報を掲載したパンフレットを首都圏のJR駅に無料で一定期間配置できたことにより、JRや沿線市町村に対する小海線に関する問い合わせが増え、通常の単発でのパンフレット配布によるPRより効果が大きかった。

・来年度小海線は全線開通して80周年・小海線の前身である佐久鉄道が開業して100周年を迎えるため、本年度小海線や沿線地域をPRすることがとても重要であったが、JR東日本と協働で事業を行うことにより首都圏の主要駅にパンフレットを設置することができ、幅広く小海線や沿線地域をPRすることができた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

平成27年の北陸新幹線(長野経由)開業を迎えたため、首都圏だけでなく北陸圏に向けた小海線・佐久地域の情報を強くPRする。また、さらなる佐久地域の発展のため、来年度小海線が全線開通をして80周年を迎えることから、佐久地域の戦略資源である「星空」とタイアップした事業を実施し、小海線・小海線沿線地域の情報発信を行う。

※自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

【目標・ねらい】

- ① 首都圏・北陸圏への情報発信
- ② 小海線沿線地域の魅力発信
- ③ 小海線の認知度向上

※自己評価【 B 】

【理由】

特に強化すべき首都圏・北陸圏での小海線のPRをJRと協働で実施することにより、幅広く行うことができたため。